

## 事後評価シート

調査研究課題名	地域公共交通サービスの評価に関する調査研究
担 当 者	総括主任研究官 小関博子、主任研究官 坂井志保、研究官 仲田知弘、 研究官 山下美由子
① 当初目標と目標達成度	<p>本調査研究は、地域公共交通サービスの評価手法について検討することを目的として実施したものである。</p> <p>調査研究の成果として、欧州各都市における公共交通サービスの評価手法を基に、評価項目の設定・測定方法・評価結果の活用方法などについて、論点を整理し提供することで、当初の目標を達成できたものとする。</p>
② 調査研究内容の妥当性	<p>本調査研究では、フランス・ドイツ・イギリスの首都および地方都市の、公共交通運営事業者に対するサービス評価項目・測定方法・結果の活用方法などについて、各関係機関および運営事業者へのヒアリングを実施し、実態を確認した。</p> <p>本調査研究の成果は、日本において公共交通サービス評価の枠組みを検討するにあたって、有効な情報を提供し得るものである。</p>
③ 調査研究の仕組みの妥当性	<p>調査研究を進める過程で随時有識者ヒアリングを実施し、有識者からご助言をいただいた。有識者は、国内および調査対象国の公共交通事業に知見を有する学識経験者に就任いただき、様々な角度からご意見をいただいた。</p>
④ 成果と活用	<p>研究成果を当研究所のホームページで広く公表することを予定している。また、本調査研究の結果が、公共交通サービス評価の枠組み構築にあたり検討材料として活用されることを通じて、将来の我が国公共交通事業の維持・発展に資することが期待される。</p>
⑤ その他	<p>調査研究内容を PRI Review 54 号、57 号に掲載するとともに、当研究所が主催した平成 27 年度研究発表会においても、成果の一部について報告を行っている。</p>